

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月30日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

**白川・緑川水系において
『白川水系流域治水プロジェクト』
『緑川水系流域治水プロジェクト』を公表します！
～あらゆる関係者が協働して流域治水を推進～**

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、白川及び緑川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【白川・緑川水系流域治水協議会】

http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/river/ryuiki_chisui.html

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

副 所 長
調査第一課長

宮 本 浩
鳥 井 讓 太

電話：０９６－３８２－１１３２（調査第一課直通）

白川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～上流から河口まで一本でつながる治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、白川水系においても、上流の阿蘇カルデラ内で降った雨が集まり、一気に中下流へ流下されるという流域の特性を踏まえ、河道掘削や横断工作物の対策、堤防整備などの事前防災対策を進めることで、国管理区間においては、近年最大の平成24年7月規模の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和28年6月規模の洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、立野ダム建設
- ・調整地の整備
- ・住宅等における雨水浸透施設の設置補助
- ・一定規模以上の開発行為に対する雨水地下浸透の指導
- ・校庭貯留施設整備
- ・ため池の補強・有効活用
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・砂防堰堤整備
- ・水田の貯留機能向上 等

調整地の整備

校庭貯留

横断工作物の対策
(固定堰群及び橋梁の改築等)

河川防災ステーションの整備

河道掘削、堰改築 等

凡 例

想定浸水範囲(戦後最大のS28.6洪水規模)

大臣管理区間

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域の指定
- ・立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)
- ・中心市街地における老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



中心市街地における老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位監視カメラの設置
- ・総合防災マップ、ハザードマップの作成(全戸配布)
- ・ため池ハザードマップの作成
- ・消防団防災士の育成、防災訓練
- ・自主防災組織活動の促進
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



防災士育成の様子(防災セミナー)



白川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～上流から河口まで一本でつながる治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

- 白川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短 期】立野ダムの完成、堤防整備及び河道掘削を実施することにより県庁所在地である熊本市等の洪水被害軽減を図る。
また、県管理区間においても遊水地整備を実施するとともに、流域として雨水貯留施設の整備等を進めることで、流域内の被害軽減を目指す。
- 【中 期】洪水の流下阻害になっている横断工作物（堰）について改築等実施するとともに継続して堤防整備及び河道掘削を実施することにより、洪水を安全に流下させ、沿川の浸水軽減とともに災害危険区域の指定等により被害の最小化を目指す。
- 【中長期】本川上流部の浸水被害を防ぐため、継続して横断工作物（堰）の改築、堤防整備及び河道掘削、県区間においては遊水地整備を実施することで、流域全体の治水安全度向上を図る。
- あわせて、ハザードマップや防災マップ、自主防災組織活動等のソフト対策を行う等、流域が一体となった防災・減災対策を推進する。

■河川対策 (約1,680億円)
■砂防対策 (約157億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	国土交通省 熊本県	河道掘削等	横断工作物の対策(国) 横断工作物の対策、橋梁架替(県)	遊水地整備
	立野ダム建設	国土交通省			
	土砂洪水氾濫対策	国土交通省、熊本県	砂防堰堤整備		
	流域の雨水貯留機能向上	熊本市、大津町、 菊陽町、高森町、 西原村、南阿蘇村	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導 調整池・校庭貯留施設等の改修・整備 雨水貯留施設の設置補助 ため池の補強・有効活用	水田の貯留機能向上	
	森林の整備・保全 治山施設の整備	熊本県、熊本森林管理署、 森林整備センター熊本水源林 整備事務所	間伐等による森林の整備・保全、治山施設の整備・保全		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	国土交通省 熊本市 阿蘇市	防災ステーションの整備・維持管理 土砂災害特別警戒区域からの移転促進 がけ地近接等危険住宅移転事業 中心市街地における老朽建築物の建替促進による防災機能の強化 災害危険区域の指定 立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、熊本県、 菊陽町、西原村	危機管理型水位計の設置 河川カメラの設置		
	避難体制等の強化	国土交通省、熊本県、 熊本市、阿蘇市、大津町、菊陽町、 高森町、西原村、南阿蘇村	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等 防災情報伝達の迅速化、多重化 防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等		

三本松堰、十八口堰完了

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

緑川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～歴史的な治水対策の保全及び未来に向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、緑川水系においても、干満差が日本一大きい有明海に注ぎ、広大な熊本平野を流下することで浸水被害発生時の影響が長期化するという流域の特性を踏まえ、高潮堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、国管理区間においては、戦後最大の昭和63年5月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



緑川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～歴史的な治水対策の保全及び未来に向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○緑川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】県庁所在地である熊本市等の洪水被害軽減及び高潮対策として、歴史的な治水対策を保全しつつ流下能力が不足する支川加勢川の河道掘削等や本川下流部の高潮堤防整備（T.P.4.5m完了及びT.P.6.0m整備）を実施し、県管理区間においても、河道掘削や橋梁架替を実施する。併せて流域として、下水道等の排水施設の整備や治山設備の整備等を進めることで流域内の被害軽減を目指す。

【中期】本川中流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削を実施する。また、支川加勢川の河道掘削や本川下流部の高潮堤防整備（T.P.6.0m）の継続と併せて、ため池の改修等により被害の最小化を目指す。

【中長期】本川上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削を実施することで、流域全体の治水安全度向上を図る。

○あわせて、ハザードマップや防災マップ、自主防災組織活動等のソフト対策を行う等、流域が一体となった防災・減災対策を推進する。

■河川対策（約246億円）
■砂防対策（約15億円）
■下水道対策（約26億円）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築等	国土交通省 熊本県	支川加勢川河道掘削等 橋梁架替	本川中流部堤防整備 本川中流部河道掘削	本川上流部堤防整備 本川上流部河道掘削
	高潮堤防整備	国土交通省	TP4.5m対応 TP6.0m対応		
	土砂洪水氾濫対策	熊本県	砂防堰堤整備		
	流域の雨水貯留機能向上	熊本市、大津町、菊陽町、西原村、宇城市、嘉島町、益城町、御船町、甲佐町、山都町	調整池・校庭貯留施設の整備、既存調整池容量拡充 雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導 農業水利施設の整備 ため池の補強・有効活用		
	支川等氾濫対策	熊本市、西原村、宇土市、宇城市、御船町、甲佐町、益城町	下水道等の排水施設の整備 排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備 中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等		
	森林の整備・保全 治山施設の整備	熊本県、熊本森林管理署 森林整備センター熊本水源林整備事務所、緑川流域会議	間伐等による森林の整備・保全、治山施設の整備・保全		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	国土交通省、熊本市、甲佐町、美里町、益城町	防災ステーション、防災拠点等の整備・維持管理 土砂災害特別警戒区域からの移転促進、がけ地近接等危険住宅移転事業 災害危険区域の指定 立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）		
	歴史的な治水対策の保全	国土交通省	堰塘等の保全		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、熊本県、菊陽町、西原村、宇土市、甲佐町	危機管理型水位計の設置 河川カメラの設置		
	避難体制等の強化	国土交通省、熊本県、熊本市、大津町、菊陽町、西原村、宇土市、宇城市、嘉島町、益城町、御船町、甲佐町、美里町、山都町	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等 防災情報伝達の迅速化、多重化 防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等 災害時における流域連携による復興支援等の検討		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。